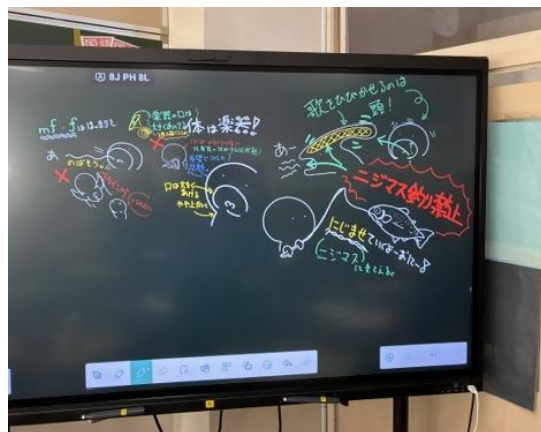


ニジマス

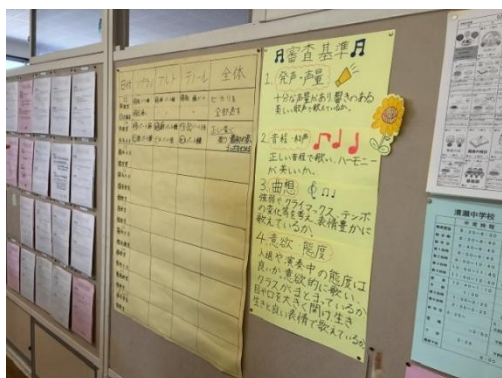
長雨が続き、大雨による様々な被害が報告されています。

静岡県富士宮市にある養殖池の少なくとも3施設で、ニジマスが大量死したことが明らかになりました。被害が確認されたのは現時点で3施設です。合わせておよそ20トン、被害額はおよそ3000万円相当にのぼるということです。大雨の影響で雨水が養殖池に入って水温が上昇し、魚が酸欠状態になったことが原因とみられています。長雨は、あらゆるところに負の影響を及ぼしています。

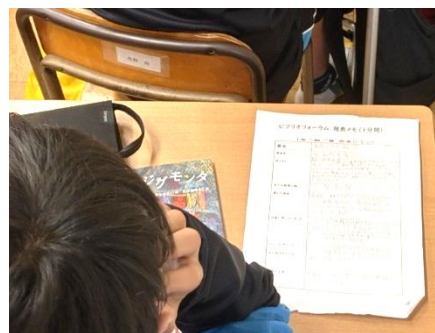
2年A組の教室。前方に設置された電子黒板を眺めると“ニジマス釣り禁止”の文字が、釣りあげたニジマスのイラストと共に並んでいました。今回のニジマスのニュースを受けて、誰かが話したのか。しかし、その時間は合唱コンクールに向けた練習の最中。近視なのか文字がよく見えず目を凝らし黒板を読むと“体は楽器!”なる文字も見えます。その並びから、やはり合唱に関する事柄であると認識せざるを得ません。???という表情になっていると、「歌詞の最後の部分が、はっきりと歌えていないので、“ニジマ



ス”に聞える。“にじませて〜”なのに。ということでニジマス釣り禁止なんです。」と副担の先生が教えてくれました。どんな「にじませて」を表現してくれるのでしょうか?2年C組は審査基準や本日の練習内容を模造紙に記入し掲示していました。実行委員さんなので、口頭で説明するだけではなく、文字にしてみんなに訴えています。審査のために歌う訳ではないですが、大切なこと。このクラスの表現もどのように変化していくのでしょうか。



1年生と2年生の国語では、清瀬市ビブリオフォーラムの校内予選に向けて準備をしております。自分のお気に入りの本の良さをどのように表現するか。聴衆に訴えかけなければなりません。1年生は本を紹介するための原稿を作成していました。調べ物をする生徒、書きあがった生徒、推敲を重ねる生徒。準備のための最後の1時間が与えられていました。2年生は一段階進みます。用意しているのは、原稿ではありません。人前に立ちどのように話を進めるかという展開をメモ書きにしていました。本番はこのメモを見ずに



語っていきます。早速ビブリオが始まりました。

「ハッピーエンドか、バッドエンドか」引き込まれる言葉から始まった書評。“あの夏が飽和する”というカンザキ・イオリさんの作品紹介です。本の魅力について語った後、結びに「それを決めるのはこの本を読んだ後のあなたです。」この生徒さんの言葉の選択に驚きました。ひきつけれる書評、強烈なインパクトを残して終了しました。



私のHPがビブリオで紹介されることはないのでしょうか?えっ ハッピーに縁遠いって?!
その舞台に上ることができたら、私のココロに架かった幸せの虹増すことでしょう。

